



写真提供：黒部園芸療法士

私は、薬剤師の職に就いて三十年余りになりますが、その大半を病院薬剤師として勤めてきました。その間、病院における薬剤師の業務も大きく変化してきました。薬剤師になつた当初は、手書きの処方箋の個性ある文字に苦戦しながら調剤して、患者様に飲み方を説明して渡すというのが主な業務でした。その後医薬分業が推進され、薬剤管理指導業務という病棟での服薬指導が始まり、薬学教育も4年制から6年制となり、最近では病棟薬剤業務という制度が新設されるなど、薬剤師を取り巻く環境も業務も日々変化し、職務遂行に必要とされる知識や技能は、ますます質の高いものが要求されるようになりました。

薬剤師が処方箋により有効かつ安全に調剤を行うことは無論ですが、患者様がその薬をいかに納得し、安心して服用していただくかが重要で、そのためには薬

リハビリテーション西播磨病院だより

ひ
かりの都

発行編集
兵庫県社会福祉事業団
リハビリテーションセンター西播磨病院
〒679-5165
兵庫県たつの市新宮町光都1丁目7番1号
TEL(0791)58-1050
FAX(0791)58-1071



～薬剤師挨拶～

兵庫県立リハビリテーション西播磨病院

薬剤部長 竹林 光代

4月1日よりリハビリテーション西播磨病院に薬剤部長として着任いたしました。早いもので半年が過ぎようとしています。

播磨科学公園都市には以前からモデルハウスの見学や食事に来たりしていましたが、西播磨病院の木造建築で落ち着いた雰囲気が大好きでした。このたび縁あつてお世話になることになり、大変光栄に思うと同時に身の引き締まる思いです。

私は、薬剤師の職に就いて三十余年になりますが、その大半を病院薬剤師として勤めてきました。その間、病院における薬剤師の業務も大きく変化してきました。薬剤師になつた当初は、手書きの処方箋の個性ある文字に苦戦しながら調剤して、患者様に飲み方を説明して渡すというのが主な業務でした。その後医薬分業が推進され、薬剤管理指導業務といつ病棟での服薬指導が始まわり、薬学教育も4年制から6年制となり、最近では病棟薬剤業務という制度が新設されるなど、薬剤師を取り巻く環境も業務も日々変化し、職務遂行に必要とされる知識や技能は、ますます質の高いものが要求されるようになりました。

関する情報提供は必要であり、私たちは向上心を持つて日々工夫、努力することが重要だと思っています。

さらに今後は、超少子高齢化の時代に向かつて、薬剤師がどのような役割と責任を果たすことが出来るかが課題となり、そのニーズに沿つて新しい薬剤部の体制を構築していく時代に入っているようになります。

さて、当院では外来の投薬も行っています。窓口では患者様に情報を伝えるために「くすりの説明書」をお渡ししています。それには薬の名前、効能・効果、服用法、服用する際の注意点、副作用などを記載されていますので、お薬をもらわれたらしっかりと確認してください。服薬指導のときに薬剤師が提供する情報はこれらの基本的な情報をはじめ、保管方法、注意したい副作用や飲み合わせなどがあります。指導というと、一方的で画一的な情報伝達のように聞こえますが、患者様の声を聞くことも指導に含まれます。薬を飲んでいて気になる点や不安に思われることでも、気軽に聞いていただきたいと思っています。

これからも薬剤師が意義ある存在として認められ、一人でも多くの患者様から必要とされ、信頼され、身近に感じていただけるよう精一杯努めますので、どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

外来紹介

当院は、脳卒中・頭外傷の急性期病院での治療後や神経難病等による運動麻痺や認知症患者さん等に対し、多くの専門医療スタッフ(医師、看護師、理学・作業療法士・言語聴覚士・音楽・園芸・療法士・臨床心理判定員等)がチームとしてかかわり、リハビリテーション医療を行っている病院です。平成25年4月から泌尿器科外来も始まり、排尿機能障害の診断・治療も行っています。

当院受診をご希望される場合、初診でかかる場合は待ち時間の短縮を図るため、予約制を採用しています。また、前日までに、予約を取ることも可能ですので事前にお問い合わせ下さい。

地域で障害をもちながら療養・社会生活をおくらされている患者さんに安心・安全で信頼される診療を行い、身体機能の維持・悪化の予防と生活を見据えた相談・援助等ができるよう医師・看護師・外来スタッフで「おもてなし」の心を持ってサポートさせていただきます。

今後とも地域に根づくりリハビリ専門の医療機関として力を発揮していきたいと思いつますので、よろしくお願いいたします。

担当 外来看護師



多くの専門職医療スタッフが
チームとしてかかわり
社会復帰へのサポートをしています

泌尿器科は、腎臓から膀胱(ぼうこう)、尿道といった尿路の臓器を中心とした専門としています。これまでには入院患者さんだけに対応しておりましたが、今年度から外来患者さんについても診療を開始しています。当院は泌尿器科疾患のうち最も多い排尿障害に対する診療を主体としております。

排尿の症状として、尿が近い、急に尿意を催す、尿が漏れる、尿が出しづらい、残尿感がある、排尿時に痛い、しみるなど様々なものがあります。その原因は、膀胱の変形や尿道が狭いなどの器質的な異常によるもの、膀胱と尿道を支配する神経の異常のために生じるものに大きく分けられます。器質的な異常には男性の排尿困難の大きな原因となる前立腺肥大症や、咳などの腹圧に伴つて尿がもれる女性の腹圧性尿失禁などが代表的なものです。神経因性による排尿障害には脳卒中、パーキンソン病、認知症のような脳や神経の病気に加え、脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアや二分脊椎症のような脊髄の神経の病気もあります。また、内科的な病気では糖尿病や、子宫がんや直腸がんなどの骨盤内手術のため神経が障害された場合にも起こります。そして高齢者の場合、明らかな神経の病気がなくとも加齢によつて膀胱機能

が低下していることもあります。また、器質的異常と機能的異常の合併例も多く、放置すると尿路感染症を繰り返したり、腎臓の働きが低下したりすることもあります。

当科では現在の排尿機能を正確に調べるために、膀胱の機能と、尿道の圧迫を精密に測れる「尿流動態検査」を積極的に行っています。尿道と直腸に細いカテーテルを同時に挿入して水をゆっくり流し込み、内圧を測定しながら、実際の排尿を再現することによって、膀胱・尿道などのはたらきを客観的に評価します。結果によつて、お薬を飲む治療、内視鏡による手術療法、カテーテルによる排尿管理といった方法を提案させていただきます。

このような症状にお困りの方がおられましたら、お気軽に泌尿器科外来を受診してください。次回は、代表的な排尿障害について簡単に解説したいと思います。



尿流動態検査装置 エリップス
(エダップテクノド社製)

医師紹介

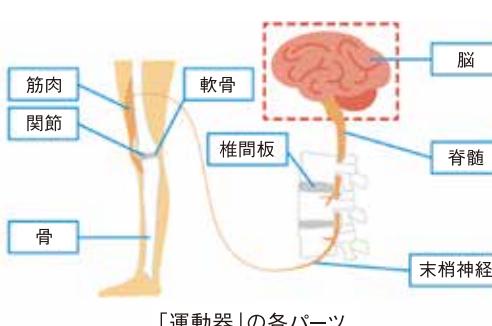
「K.Y.」

突然ですが、コミュニケーションをざつくりと解釈してみました。相手より発信された音声言語、声のトーン、文字・記号情報、表情、しぐさ、ボディータッチ、匂いなどの多重の情報が感覚器を通して脳に伝達され脳内ワーキングメモリのそれぞれの感覚中枢で処理され、その多重の情報を保持しつつ、必要時抑制し大脳連合野などで情報が混ざり合いヒトが知覚する。その知覚を解釈するためには過去の記憶から情報を引き出し理解し、それとともに情動がわきあがる。ヒトはその情動に「ことば」をのせて「感情」と呼ぶ。この多重の情報を処理し理解し最終的には言葉、表情、身振り手振りで表出する。医師を含め医療スタッフは医療の専門用語を使い客観的な事実情報をやりとりするのには慣れている。しかしこの事実情報に集中しすぎると患者の「感情」を読み取ることがおろそかになる。そうなると患者の会話にある行間が読めない、空気が読めないK.Y.になってしまふ。上手にいかなかつた病状説明の後など、「ああ、自分も漏れずその1人になつていて」と反省することがある。もつと患者、家族に傾聴しより良いリハビリテーションを提供していくたらと思う。

リハビリテーション科 丸本 浩平

骨粗しょう症で背中が曲がった、膝に水がたまつて痛い、腰からの神経痛で脚がしびれる、ひきこもつて運動不足、などいろいろな原因で「足腰が弱ってきて思うように動きにくく転びやすい状態」と思えばいいでしょう。

戦後の復興期を経て、日本人の平均寿命は80歳前後まで伸びました。これは、現在高齢になられた方々の粉骨碎身の努力のおかげですばらしいことなので、元気で日常生活をおくれる「健生き」とは10年程の差があるのであります。介

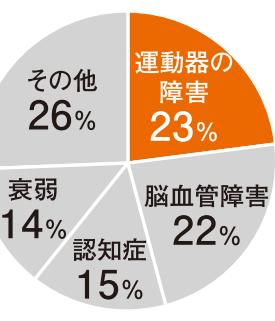


日本整形外科学会
ロコモパンフレット2013年度版

「メタボ」は知っているけど、「ロコモ」ってなに?という方が多いと思います。「ロコモティブシンдром」略して「ロコモ」とは、平成19年に日本整形外科学会が提唱した言葉です。骨・関節・筋肉や脳から動きの指令を伝える神経など、体を支えたり動かしたりする運動器の機能が低下して要介護になるリスクの高い状態です。

ロコモティブシンдром(運動器症候群)

護が必要となる原因を調べた統計によると、関節の疾患や転倒・骨折を合わせると、全体の約2割を占めています。



平成23年厚生労働省
国民生活基礎調査より

いつまでも自分の足で歩き続けていくために、適度な運動と適度な栄養でロコモを予防し健康寿命を延ばしていくことが今、必要なのです。

「ロコモ」の兆しがあるかどうかは次の「ロコチェック」を使って簡単に確かめることができます。東洋医学では「未病を治す」という言葉があります。食生活の改善や、メタボや痩せすぎにならないよう体重の管理、適度な運動習慣をつける、など「ロコモ」を予防しましょう。

- ①片脚立ちで靴下がはけない
- ②家の中ですまづいたりすべたりする
- ③階段を上がるのに手すりが必要
- ④家のやや重い仕事(掃除機をかける、布団の上げ下ろし)が困難
- ⑤2kg程度の買い物をして持ち帰るのが困難(1リットルの牛乳パック2個程度)
- ⑥15分くらい続けて歩くことができない
- ⑦横断歩道を青信号で渡りきれない

診療部長 金澤慎一郎

いよいよ、11月6日松葉ガニ解禁！！



カニおすすめコース 平日1泊2食 1室2名様利用
大人お一人様(60歳以上の方)

12,150円(税込)



浜坂温泉保養荘

♪好評いただいております！！

カニシーズンは大変混み合いますので、
お早めにご予約くださいませ！

＜カニおすすめコースメニュー＞

- ・カニすき
- ・カニ刺し
- ・焼きガニ
- ・カニ天麩羅
- ・カニ味噌
- ・カニ雑炊
- ・フルーツ

※ その他いろいろなプランがあります。
詳細は当店にお問い合わせ下さい！



写真はオプションメニューです

TEL: 0796-82-3645
〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775
<http://www.hamasaki-ni.com/>

失語症外来

当院では、失語症の方々への専門外来を行っています。失語症は、脳卒中などの病気や事故の後遺症としておこる「ことば」の病気です。

この病気は、単に「ことば」が話しくらいだけでなく、理解することや読み書きも不自由になるなど、一般には理解しにくい側面があります。

失語症の方が100人おられれば100人もその症状が異なり、コミュニケーションの対応方法も、それぞれに異なってきます。失語症専門外来では、コミュニケーション能力を正しく評価し、個々の患者様にとって最適な訓練を行っていきます。また、家族の方々に失語症を正しく理解して頂くとともに、ご家庭で困つておられる事、疑問に思われておられる事を、ともに解決できるよう取り組んでいきます。

コミュニケーション等でお困りの方は、発症からの日数にかかわりなく、総合相談・地域連携室 山森、もしくは、リハビリ療法部 東山までご連絡下さい。

☎ (0791) 558-11050



の取材者一人が
だきました。

その他の、今回
だきました。



州名物ヒネポン[®]、
とてもヘルシーでボ
リュームのある「玄
米パンの生ハムシ
ザーサラダ」をいた
だきました。

店内には30種類の梅酒を含む、約300種類のお酒があり、お酒好きの方にはもってこいのお店です。また、料理の数も豊富で、すべての料理にボリューム感があり、一度食べたら、また来たくなる料理が揃っています。お酒の飲めない方も楽しんでいただけるくつろぎの空間です。

今回、私たちは旬彩の店長へおすすめ料理をお願いし、新鮮な素材を盛り込んだ「お刺身盛り合わせ」、サッパリ感があり噛めば噛むほど肉のうまみができる「播磨新宮IC

お店紹介 ～旬彩～



店長 岩本 晃司さん

以前この店で一度食べ忘れられなくなつた味、豚肉にたっぷりの野菜、何と言つてもスープの味が格別な「ゴマ豆乳鍋」もいただきました。

最後にびっくりする程大きいデザート。「パリパリおさつとバニラアイス」が出され、取材者三人お腹いっぱいと言いつべ

一度食べるとまた食べたくなる料理満載の



お店「旬彩」へ是非訪れてみて下さい。



赤穂郡上郡町光都2-23-1
播磨科学公園都市 光都プラザ内
☎ 0791-59-8061
営業時間 11:30~13:30
17:00~22:30
定休日 日曜日(土日はランチ休み)



取材者
主事
臨床検査技師
薬剤師
新畠中免

西播磨ふれあいフェスタを終えて

恒例となった「ふれあいリハフェスタin西播磨2013」を9月23日(秋分の日)に開催しました。地域の方々との交流とセンター機能を知っていただく事を目的に、体験ブースや院長の講演、オーバル広場での催しを開催して福祉や医療に理解を深めていただきました。

当日はご当地ゆるキャラや晴天のもとバルーンリリースなどで盛り上がり、約2,000名の方々に参加していただきました。

